

# 隠岐地域の森林・林業・木材産業の概要

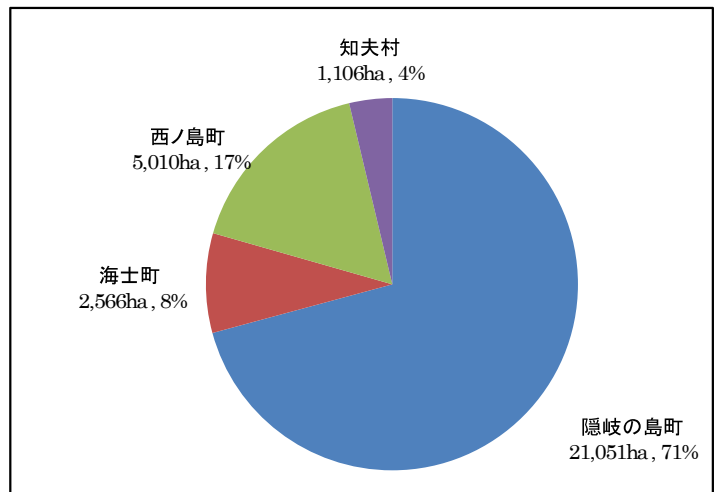
隠岐支庁農林局林業部

## 隠岐の森林資源

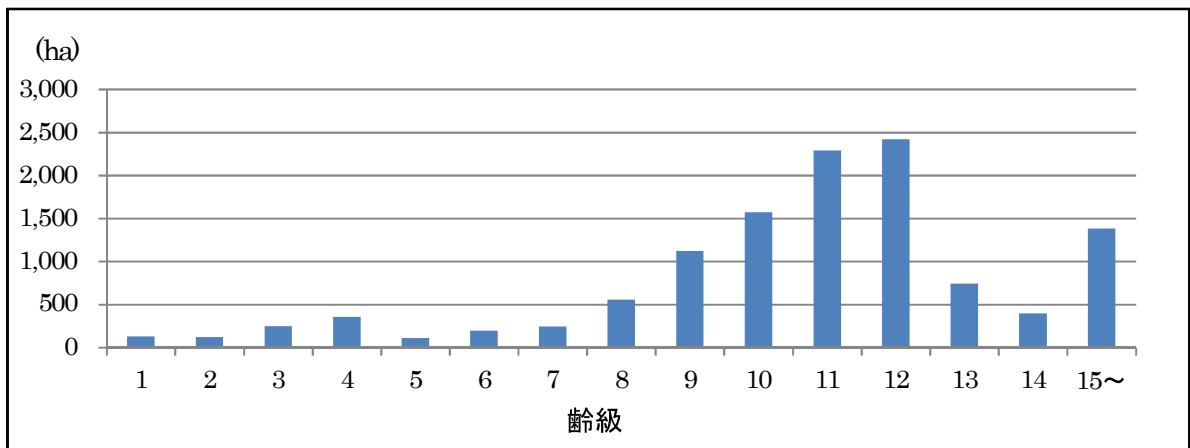
○森林面積 29,734ha  
 (島根県の6%)  
 (島前) 8,682ha  
 (島後) 21,051ha

○人工林率 40%  
 (県平均37%)  
 (島前) 21%  
 (島後) 48%

町村別森林面積



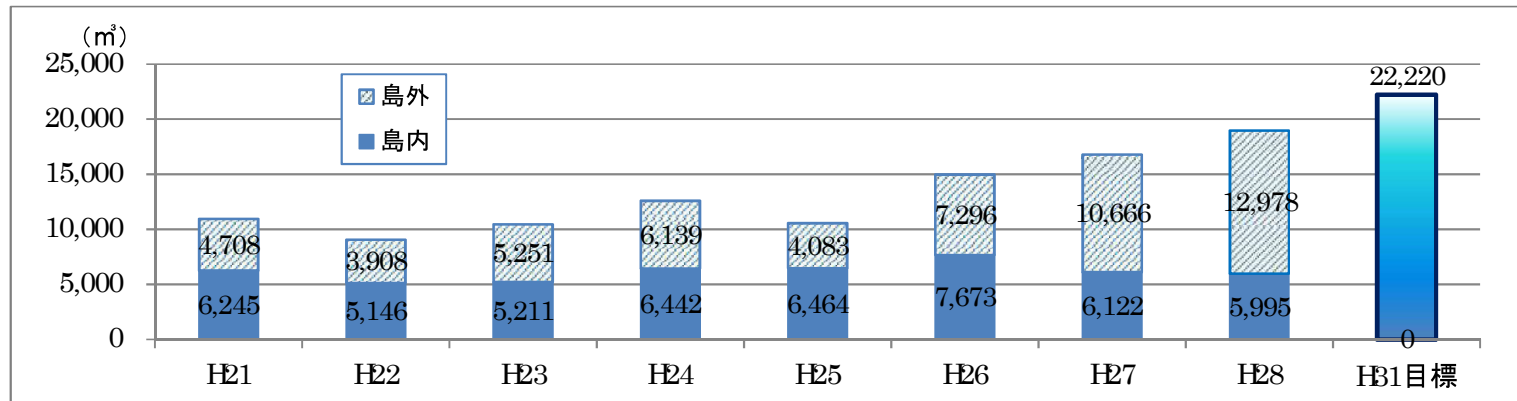
## ○人工林の資源構成



## 隠岐地域林業・木材産業の概要

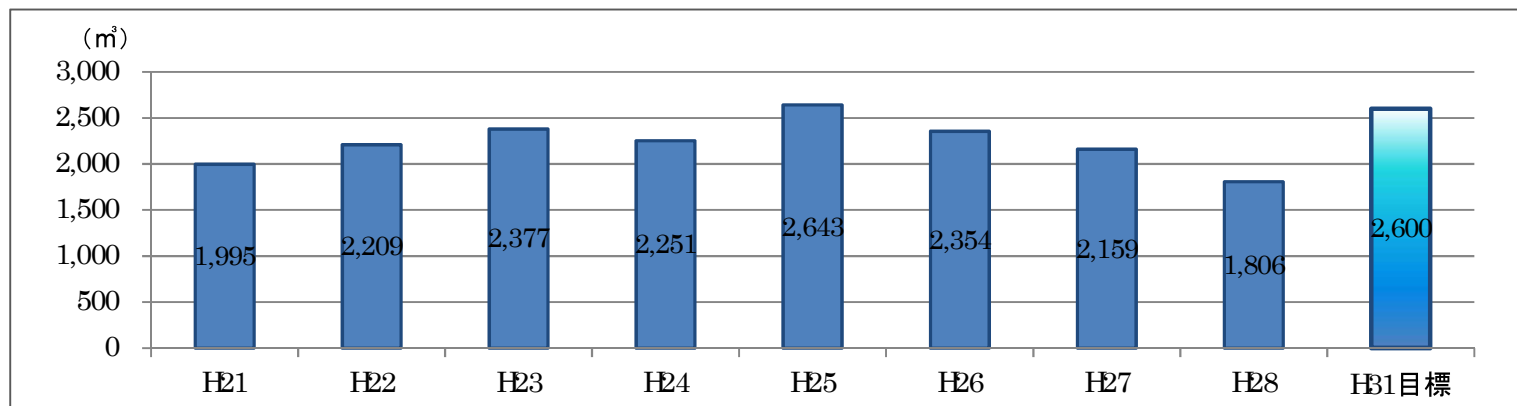
出荷先別原木生産量の推移

- 「隠岐(しま)の木出荷共同体」の設立後、島外出荷量が増加
- H29年度は、20,000m<sup>3</sup>を超える見込み



ウッドヒル隠岐製品出荷量の推移

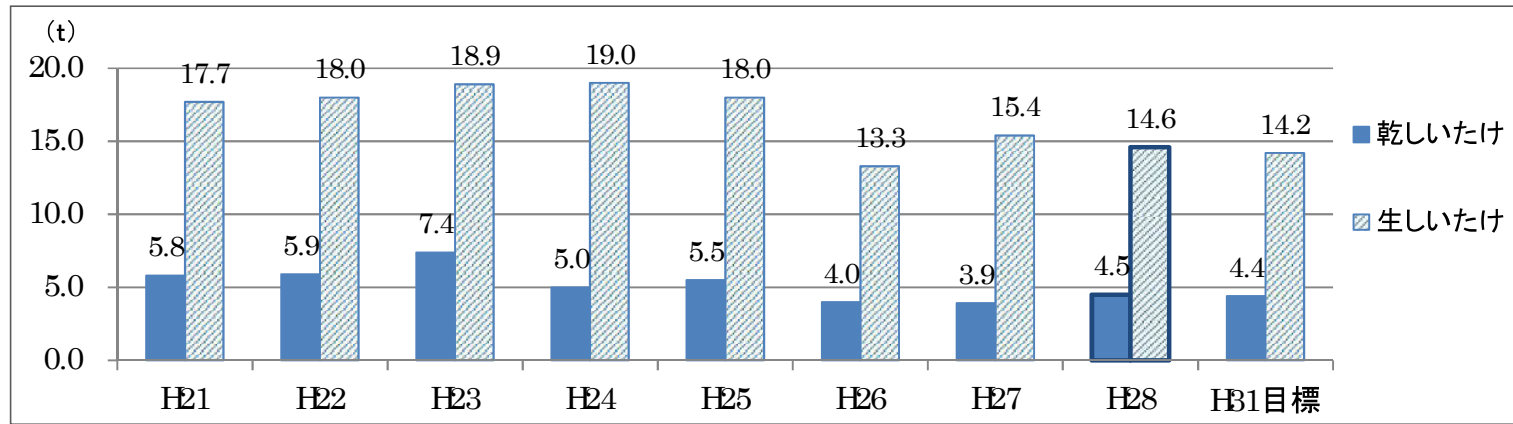
- H25年度までは増加傾向、その後公共建築の影響を受け減少
- 県外の加工業者や他地区との連携を図るなど販路開拓中



# 隠岐地域林業・木材産業の概要

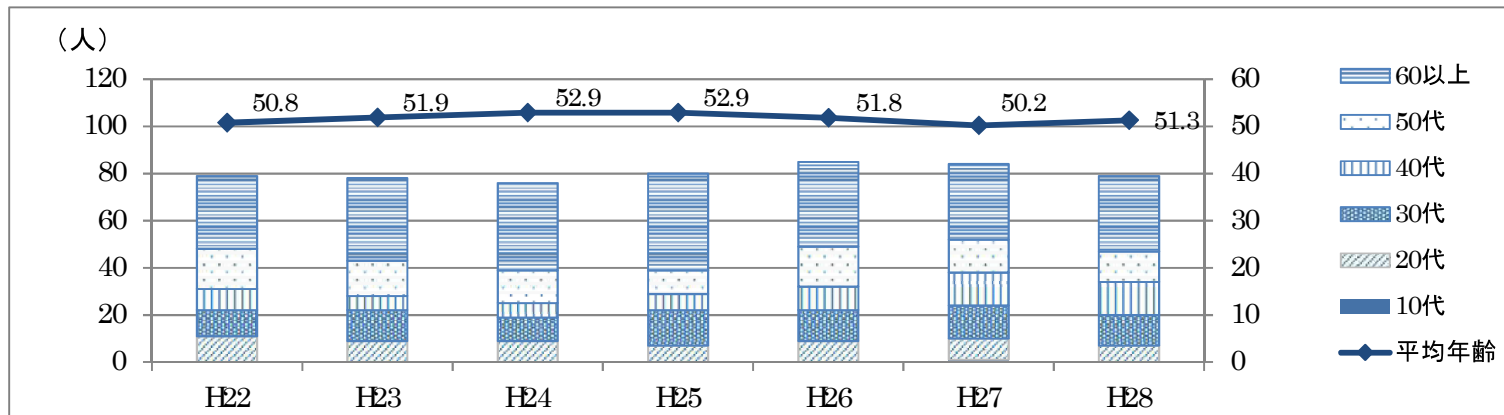
## しいたけ生産量の推移

- 有効楕木の減少により、H26年度は生産量が減少
- H25年度に楕木購入支援を行い、生産量はやや上向
- 乾しいたけは、H27年度に価格が持ち直し、生産者の意欲が向上

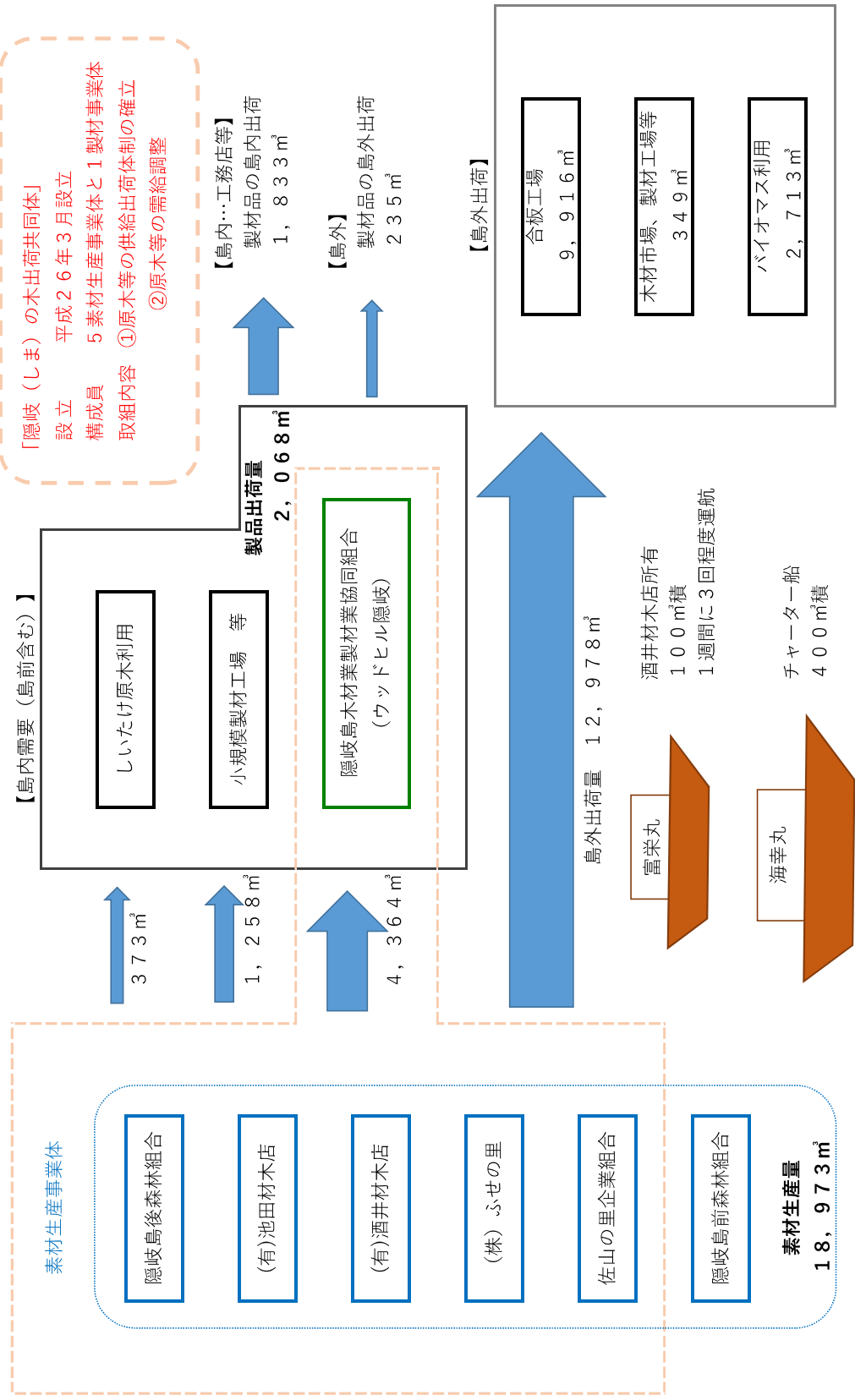


## 担い手の推移

- 隠岐地区全体の担い手は、近年80名前後で推移
- 募集はしているものの確保が難しい状況



# 隠岐島後地域の木材生産・木材流通の状況【H28実績】



# 新たな農林水産業・農山漁村活性化計画(第3期戦略プラン) 地域プロジェクトの主な取り組み状況等について

圏域名	隠岐	PJ名	隠岐(しま)の木生産拡大・再造林推進プロジェクト
-----	----	-----	--------------------------

## ■プロジェクトの目的

- 効率的な施業が行える事業地の確保
- 木材生産コストの低減
- 原木の安定出荷体制の強化
- 造林コストの低減



- ### 循環型林業の構築
- 原木生産量の拡大
  - 森林所有者への還元
  - 人工林資源の若返り

## ■取り組みの概要

- 施業・経営の集約化 → 「提案型集約化施業」※1の推進、効率的な施業集約化に向けた仕組みづくり
- 木材の生産体制の強化 → 低コスト化に向けた基盤整備、労働力確保、技術力向上の推進
- 原木出荷体制の強化 → 「隠岐(しま)の木出荷共同体」による本土への原木安定出荷体制の強化
- 低コスト造林の推進 → 一貫作業システムによる低コスト造林、コンテナ苗生産の体制整備

※1 作業の合理化を図るため小規模所有山林を面的に集約し、施業内容やコストをあらかじめ所有者に提案したうえで行う施業

## ■成果指標

項目	単位	現況(H28)	目標(H31)
森林経営計画に基づく原木生産量【総合戦略】	m <sup>3</sup> /年	18,973	22,220
低コスト再造林対策苗木生産量【総合戦略】	本/年	30,448	50,000
再造林面積【地域独自】	ha/年	27	38

## ■取り組みの状況

### ○施業・経営の集約化

- ・「森林経営計画」※2認定状況の把握(カバー率37%)
- ・森林経営計画策定区域管内図の作成(作成中)
- ・事業体間における事業地調整や施業連携による効率的な施業集約化の働きかけ

### ○木材の生産体制の強化

- ・森林作業道開設現地指導
- ・高性能林業機械の導入(プロセッサ1台)(9月)
- ・担い手確保のための管内高校訪問(5月、6月)

### ○原木出荷体制の強化

- ・「隠岐の木出荷共同体」幹事会の開催(5月、7月)
- ・植栽から下刈りにかかる山林所有者負担の無い仕組みづくり検討(検討中)

### ○低コスト造林の推進

- ・コンテナ苗生産研修会参加による技術栽培技術(9月)

【取り組み等の写真】



【高性能林業機械による低コスト作業】  
更新伐施業地(隠岐の島町伊後地内)

- ①ハーベスタによる造材→
- ②グラブによる積込→
- ③フォワーダによる土場までの搬出

※2 森林組合等の林業事業体が経営する森林について策定する伐採・造林、森林の保護、作業路網の整備等にかかる5年間の計画

## ■取り組みの成果

### ○施業・経営の集約化

- ・事業体間の施業連携検討を開始

### ○木材の生産体制の強化

- ・高性能林業機械の導入による低コスト作業システムの展開

### ○原木出荷体制の強化

- ・丸太計測方法をルール化し、出荷を合理化  
(H29年8月末の島外出荷量 4,700m<sup>3</sup>)

### ○低コスト造林の推進

- ・コンテナ苗生産指導  
(H29年度生産計画 32,000本)

## ■今後重点的に取り組む課題

### ○施業・経営の集約化

- ・事業体毎の将来ビジョンづくり
- ・森林経営計画の作成

### ○木材の生産体制の強化

- ・木材生産システムに適した路網整備
- ・高性能林業機械オペレーターの養成
- ・担い手の確保

### ○原木出荷体制の強化

- ・「隠岐の木出荷共同体」の体制強化

### ○低コスト造林の推進

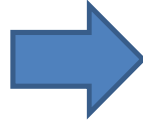
- ・一貫作業システム体制の確立

新たな農林水産業・農山漁村活性化計画(第3期戦略プラン)  
地域プロジェクトの主な取り組み状況等について

圏域名	隠岐	PJ名	隠岐(しま)の木利用拡大プロジェクト
-----	----	-----	--------------------

■プロジェクトの目的

- 島産製品使用の促進
- 地域の状況に応じた木質バイオマス利活用



- 循環型林業の構築
- 木材製品の利用拡大
- 林業・木材産業の活性化

■取り組みの概要

- 島外(県外)出荷の拡大 → 需要に応えられる製品出荷体制の確立、黒松製品等の出荷拡大等
- 高品質な製材品づくり → 乾燥度合いの均一化等乾燥技術の向上、新商品等の検討・開発
- 島内需要の確保 → 公共部門・民間部門での利用促進、展示・見学会等情報発信力の強化
- 木質バイオマス利用の拡大 → [島後]施設導入に伴う安定供給体制の整備、[島前]利用計画の検討

■成果指標

項目	単位	現況(H28)	目標(H31)
乾燥材出荷量【総合戦略】	m <sup>3</sup> /年	709	1,050
製材品出荷量【地域独自】	m <sup>3</sup> /年	2,068	2,600

■取り組みの状況

○島外(県外)出荷の拡大

- ・しまねWOODフェア(出雲ドーム)での展示・PR(6月)
- ・県外での展示商談会に向けたPJ会議の開催(7月、8月、9月)  
…サンプル、ブース作成等出展内容等協議
- ・隠岐の島町の姉妹都市への木材PR(8月)
- ・松江市公共物件に係る木材協会松江支部との連携強化(4月~9月)

○高品質な製材品づくり

- ・乾燥技術技術習得に向けた中山間地域研究Cとの打合せ(6月)
- ・乾燥試験実証データの収集(9月)  
…乾燥状況報告及び下期の指導スケジュール調整
- ・新商品開発に向けたPJ会議の開催(8月)  
…新商品の規格検討、試作の作成等協議

○島内需要の確保

- ・町村公共建築担当と木材利用促進に向けた公共施設の建設見通し等について意見を交換(7月)
- ・隠岐の島町いきいき祭りでの木材PRに向けたPJ会議の開催(7月、8月)…一般向け展示内容検討、会場下見、配置検討

○木質バイオマス利用の拡大

- ①[島後]→木質ペレット工場等整備着手(7月)、民間でのペレット需要拡大に向けたストーブ等助成事業開始(7月)
- ②[島前]→木質バイオマス利用に向けた木材生産体制強化等の検討(6月)

【取り組み等の写真】



しまねWOODフェア2017



PJ会議による新商品開発協議

■取り組みの成果

○島外(県外)出荷の拡大

- ・製品出荷量等については、県外協力企業への出荷や県内取引先への出荷量が順調に推移
- ・県外展示会に向け展示内容を決定

○島内需要の確保

- ・民間施設を中心に島内需要が回復傾向
- ・一般消費者向けPRとしていきいき祭り出展決定

○木質バイオマス利用の拡大

- ・[島後]…ペレット製造施設の建設に着工
- ・[島前]…木材生産体制整備に向け情報共有

■今後重点的に取り組む課題

○島外(県外)出荷の拡大

- ・県外展示会へ出展PR(東京:11,1月)
- ・木材協会松江支部との連携した隠岐産木材の円滑な供給スタート(1月)

○高品質な製材品づくり

- ・構造材乾燥スケジュールの確立(3月)
- ・新商品の試作・改良、PR方法の検討

○島内需要の確保

- ・いきいき祭による島内需要喚起(11月)



新たな農林水産業・農山漁村活性化計画(第3期戦略プラン)  
地域プロジェクトの主な取り組み状況等について

圏域名	隠岐	PJ名	隠岐しいたけ振興プロジェクト
-----	----	-----	----------------

■プロジェクトの目的

- しいたけ生産の拡大
  - ・クヌギ原木林の造成・管理
  - ・生産者の掘り起こし
  - ・栽培技術向上
  - ・ジャンボしいたけの生産
- しいたけ販売の拡大
  - ・市場ニーズの把握
  - ・新たな加工商品の開発



隠岐しいたけ再興  
○しいたけ生産量の拡大  
○しいたけ生産額の増加

■取り組みの概要

- クヌギ原木の確保 →クヌギ原木の安定供給に向けた原木林の造成及び適正管理
- 生産体制の充実 →新規生産者の掘り起こし及び栽培技術(品質、生産量)の向上  
付加価値の高い厳選品(ジャンボ椎茸等)の生産、生産環境の改善促進
- 市場ニーズの把握 →イベント等を活用した市場ニーズの把握、新たな加工品の開発と販路拡大  
隠岐ふるさと直販所協同組合との連携

■成果指標

項目	単位	現況(H28)	目標(H31)
しいたけ生産量【地域独自】	t/年	46.1	45
しいたけ販売額【地域独自】	百万円/年	37.3	34
クヌギ林面積【地域独自】	ha	109	120

■取り組みの状況

- クヌギ原木の確保
  - ・クヌギ林造成のための伐採予定地の情報収集
  - ・森林施業適期実施の徹底  
(植栽後の下刈り作業、萌芽枝の「芽かき」等)
- 生産体制の充実
  - ・JA及び日本きのこセンターとの合同巡回指導(7月)
  - ・全農椎茸品評会において全農理事長賞受賞(箱物)
  - ・新規生産者確保のための営農組織との連携検討
  - ・ジャンボ椎茸栽培技術研修会の開催(予定)
- 市場ニーズの把握と販路拡大
  - ・しいたけカレーパンの改良及び試験販売(6~7月)  
(アンケート調査の実施)
  - ・飲食店での島内産しいたけ提供状況調査(予定)
  - ・隠岐ふるさと直販所協同組合との連携強化

【取り組み等の写真】



【木村屋(パン)】  
6次産業化アドバイザー派遣による  
「しいたけカレーパン」味覚改良

■取り組みの成果

- クヌギ原木の確保
  - ・伐採予定地の把握と適地適木指導
  - ・クヌギ造林の推進及び適期施業の実施
- 生産体制の充実
  - ・榎場の巡回指導による栽培意欲の向上
- 市場ニーズの把握と販路拡大
  - ・原木 しいたけ取引状況の情報共有
  - ・しいたけカレーパンの試作

■今後重点的に取り組む課題

- クヌギ原木の確保
  - ・クヌギ林造成地(適地適木)の選定
  - ・クヌギ植栽地の適切な保育管理の徹底
- 生産体制の充実
  - ・栽培技術(品質、生産量)向上のための講習会の開催
  - ・ジャンボ椎茸(厳選品)生産者の育成・確保
- 市場ニーズの把握と販売拡大
  - ・新たな加工商品の開発
  - ・美味しまね認証等を活用した販路拡大策の検討